

第4回

The 4<sup>th</sup> Japanese Association of  
Re-work for Depression Annual Convention

# 日本うつ病リワーク協会 年次大会

会期

2021年4月17日(土)・18日(日)

会場

WEB開催

<https://utsu-rework4.secand.net>

大会長

佐々木 一

医療法人社団爽風会 心の風クリニック千葉・船橋 理事長

## コロナ禍でのリワーク



# 第4回 日本うつ病リワーク協会 年次大会

The 4<sup>th</sup> Japanese Association of Re-work for Depression Annual Convention

プログラム・抄録集

## コロナ禍でのリワーク

主催 一般社団法人 日本うつ病リワーク協会

後援 千葉市

会期 **2021年4月17日**土・**18日**日

会場 **WEB開催**  
<https://utsu-rework4.secand.net>

大会長 **佐々木 一**  
医療法人社団爽風会 心の風クリニック千葉・船橋  
理事長

# INDEX

---

ご挨拶	1
参加者へのご案内	2
発表者へのご案内	3
日 程 表	4
プログラム	6
単位取得表	13
抄 録	
大会長講演	15
特別講演	17
編集情報委員会シンポジウム	19
施設認定委員会シンポジウム	23
研修委員会シンポジウム	25
地域連携委員会シンポジウム	27
Zoom 座談会	33
スポンサードセミナー1	35
スポンサードセミナー2	37
スポンサードセミナー3	39
スポンサードセミナー4	41
スポンサードセミナー5	43
スポンサードセミナー6	45
一般演題	47
共催・後援・協賛等 一覧	72
運営組織図	73

## 第4回日本うつ病リワーク協会 年次大会

# ご 挨拶

大会長 佐々木 一

医療法人社団爽風会

心の風クリニック千葉・船橋

第4回日本うつ病リワーク協会年次大会を2021年4月17日(土)・18日(日)の2日間開催いたします。コロナ禍のため千葉市民会館で開催するという当初の予定を変更し、インターネット上において開催することにいたします。

2008年に発足したうつ病リワーク研究会は、リワークという治療の進歩、実施する医療機関の増加に伴って発展を続け、2018年2月には新しく一般社団法人日本うつ病リワーク協会として生まれ変わりました。会員医療機関は200機関を超え、会員数は1,000人を超えております。

これまで年次研究会においては、様々な視点からリワークに関しての活発な議論が行われてきました。協会に改組されたのち第1回大会は郡山、第2回大会は福井で盛大に行われ日本各地から多数の参加者を集めました。コロナ禍のため第3回山梨大会はネット開催となりましたが、例年に劣らぬ多数の参加者を集め、内容も充実したものとなりました。

今回はコロナ禍に見舞われた現状を鑑み開催直前ではありますが、テーマは「コロナ禍でのリワーク」に急遽変更いたしました。集団を対象としたプログラムであるリワークにとって、コロナウイルスへの対応は重要な課題です。緊急事態宣言中は、会員の多くが感染対策に追われ、利用者・スタッフの不安を鎮めることに苦心され、経営的にも大変ご苦勞をされていたことと推察いたします。リワーク利用中や通所のための交通機関利用中の感染を恐れる利用者の減少が起り、景気の急速な冷え込みから企業側が復職を強く求めなくなっているなど、リワークをめぐる環境も変化を続けています。

そのような中で、リワークプログラムがどのように環境に合わせて生き残っていくか、また日本うつ病リワーク協会がどのように対応できるのか、ネット上での発表と討論を行うことにいたします。リワーク協会内部での会議はすでにZoomを使用したものに置き換わっています。今後はリワーク協会の実施する研修・施設認定などをネットで行うことが検討されており、詳細について本大会にて告知されます。ネットを活用した治療的な試みについて、討論をするセミナーも予定されております。危機的状況ではありますが、逆に我々が進歩するための好機と捉えて、さらに前進するためのきっかけにしたいと思えます。

当初第4回大会で予定していたテーマは「治療の高度化・多様化 医療リワークであるからこそ」でした。治療レベルをさらに高め、医療リワークが積極的に企業・患者から選ばれるようにしていくことを目指し、リワークで行われるありとあらゆる治療を俯瞰的・総合的に紹介し討論し、知識と技術を持ち帰っていただく大会にする予定でした。このプランは今も生き残っています。コロナ禍が消え去ったであろう2023年、第6回大会は千葉市で、当初のテーマを掲げて改めて実施する予定です。

しかし、今は目の前の問題を解決しなければいけません。第4回大会へぜひご参加いただきますようお願いいたします。

## 参加者へのご案内

今大会ではすべてのプログラムはインターネットの配信を利用したバーチャル会場での開催となります。

ライブ配信とオンデマンド配信の2種類の方法があります。プログラム表をご参照ください。発表の録画・録音、第三者への公開はご遠慮ください。

### ライブ配信

期 間：4月17日(土)～4月18日(日) (プログラム通り定刻に配信します)

- 主催者は Zoom Webinar (ズームウェビナー) を用いて双方向性の担保されたインターネットでのライブ配信を行います。
  - 参加者の使用するソフト・アプリは Zoom (ミーティング用 Zoom クライアント (PC 用)、Zoom Cloud Meetings (スマホ用)) です。大会前にあらかじめインストールしておいてください。発表の音声を受取るためにはスピーカーあるいはヘッドホンが必要です。
- ① 大会事務局が参加者に送った招待メールに記載されている Zoom ウェビナーのリンク URL (<https://zoom.us/> から始まる当大会固有の URL) をクリック、あるいは大会オンデマンド配信会場 (参加登録者のみアクセス可能です) に入場した後、ライブ配信会場のバナーをクリックします。次にパスコードを入力、さらにメールアドレス、姓名を入力してログインしてください。
  - ② 何らかの事情 (メールを受信できない、メールを受信した端末と別の端末でログインする必要がある等) で①の方法が使用できない場合は、まずは Zoom を起動してください。表示される入力画面に招待メールに記載されたウェビナー ID とパスコードを入力、次にメールアドレス、姓名を入力してログインしてください。

いずれの方法でも、Zoom のログインの際に求められる入力画面では、姓・名、メールアドレスは、大会に登録した通りに正しく入力してください。認証・学会等ポイントの申請に必要です。これらの個人情報は事務局のみで管理し、他の参加者に伝わることはありません (研修委員会プログラムのみはログイン方法が異なります。認証された参加者のみにお知らせのメールが届きます)。
- ライブ配信では Zoom ウェビナーの双方向性機能である Q & A、チャット、投票の機能を使用します。どの機能を使用するかは、セッションにより異なりますので、座長の説明に従ってください。これらの機能は画面下部に表示されています。クリックすることで起動します。
- (注意！) Q & A を使用する場合、ご自分で入力した姓名が表示されることがあります。通常の学会でも質問の際には名乗っていただきますので問題はないと考えますが、支障のある方は (ログイン後に) 表示されるお名前をご自分で変更してください。
- (注意！) チャットで質問をされる時には、「匿名で送信」にチェックを入れないでください (入れないのがデフォルト設定です)。- ライブ配信のプログラムには、すべてを完全ライブ配信で行うものと、ハイブリッド配信を行うものがあります。ハイブリッド配信では、発表者のパートは事前収録したビデオをプログラム表通りにオンタイム配信し、それに引き続いて発表者・座長・参加者の参加するリアルなライブ配信を行います。事前収録のパートについては同じ内容のオンデマンド配信もごございますが、オンデマンド配信のみの視聴では学会等のポイントの取得はできません。ポイント取得のためにはライブ配信へのログイン・ログアウトの記録が必要です。ご注意ください。

### オンデマンド配信

期 間：4月16日(金)～4月25日(日)

大会 HP (<https://utsu-rework4.secand.net/>) からオンデマンド配信会場へのバナーをクリックして、オンデマンド配信会場 (<https://utsu-rework4web.secand.net/>) にお進みください。この時点でログインのため、登録されたメールアドレス・パスワード (事前にメールでお知らせします) の入力が必要となります。

(注意！) ライブ配信とオンデマンド配信の ID、パスワードは異なります。

## 発表者へのご案内 (スポンサードセミナーを除く)

今大会ではすべてのプログラムはインターネットの配信を利用したバーチャル会場での開催となります。

ライブ配信とオンデマンド配信の2種類の方法があります。

ご発表に際しては、冒頭でCOIに関するスライドを提示してください。

また、倫理性への配慮として、世界医師会によるヘルシンキ宣言、日本精神神経学会のガイドラインに則し、プライバシーに配慮してご発表いただくようお願いいたします。

### ライブ配信

期 間：4月17日(土)～4月18日(日) (プログラム通り定刻に配信します)

- 主催者は Zoom Webinar (ズームウェビナー) を用いて双方向性の担保されたインターネットでのライブ配信を行います。
- ライブ配信では Zoom ウェビナーの双方向性機能である Q & A、チャット、投票の機能使用可能です。
- ライブ配信のプログラムには、すべてを完全ライブ配信で行うものと、ハイブリッド配信を行うものがあります。ハイブリッド配信では、発表者のパートは事前収録したビデオをプログラム表通りにオンタイム配信し、それに引き続いて発表者・座長・参加者の参加するリアルなライブ配信を行います。事前収録のパートについては下記のオンデマンド配信と同様の方法でアップロードをお願いいたします。
- ライブ配信は東京大手町のスタジオからの配信と、ご自身のエリアからのリモート配信の2通りが選択できます。詳細については、配信を担当する株式会社 WiseUp よりご案内を差し上げます。

### オンデマンド配信

期 間：4月16日(金)～4月25日(日)

事前にご発表のデータをアップロードしていただきます。パワーポイントの音声・画像データをビデオ化した MP4 (MPEG-4) データを標準形式とします。他のデータ形式をご希望の方はご相談ください。詳細についてはオンデマンド配信を担当する株式会社セカンドよりご案内を差し上げます。

## 〈次期開催案内〉

### 第5回日本うつ病リワーク協会 年次大会

会 期：2022年7月16日(土)・17日(日)

大会長：寺尾 岳(大分大学 精神科)

**1日目** 2021年4月17日(土)

JSPN(1) 日本精神神経学会 専門医単位取得対象(括弧内は単位数)

医CC1(1) 日本医師会生涯教育制度 単位取得対象(カリキュラムコード、単位数)

**ライブ配信**

**オンデマンド配信**

9:00		
10:00	<p>10:00~11:00</p> <p><b>開会式・大会長講演</b> JSPN(1) 医CC15(0.5)</p> <p><b>コロナ禍の中で生きるリワーク・リワーク協会 アンケートの結果から</b></p> <p>演者：佐々木 一 (医療法人社団爽風会 心の風クリニック千葉・船橋)</p> <p>※発表本体のみオンデマンド配信もいたします。配信期間：4月16日(金)~4月25日(日)</p>	
11:00	<p>11:00~12:00</p> <p><b>スポンサードセミナー 1</b> 医CC70(0.5)</p> <p><b>双極性障害薬物療法の新しい選択肢</b></p> <p>演者：佐藤 創一郎 (希望ヶ丘ホスピタル)</p> <p>座長：五十嵐 良雄 (メディカルケア大手町)</p> <p>共催：大日本住友製薬株式会社</p>	
12:00	<p>12:00~13:00</p> <p><b>スポンサードセミナー 2</b> 医CC68(0.5)</p> <p><b>双極性障害とリワークプログラム</b></p> <p>演者：鷺塚 伸介 (信州大学 医学部 精神医学)</p> <p>座長：岡 敬 (特定医療法人十全会 十全病院)</p> <p>共催：大塚製薬株式会社</p>	<p><b>一 般 演 題</b></p> <p>配信期間： 4月16日(金) ↓ 4月25日(日)</p>
13:00	<p>13:00~14:00</p> <p><b>スポンサードセミナー 3</b> 医CC54(0.5)</p> <p><b>精神科外来における便秘症についての検討</b></p> <p>演者：山田 浩樹 (昭和大学横浜市北部病院 メンタルケアセンター)</p> <p>座長：肥田 裕久 (医療法人社団宙委会 ひだクリニック)</p> <p>共催：持田製薬株式会社</p>	
14:00	<p>14:00~15:30</p> <p><b>編集情報委員会シンポジウム</b> JSPN(1) 医CC72(0.5)</p> <p><b>発達障害、こんな時みなさんどうしてますか？ ～リアルタイム投票・投稿・アンケートツールを用いて～</b></p> <p>シンポジスト：高尾 哲也 (水戸メンタルクリニック) 五十嵐 良雄 (メディカルケア大手町) 池田 隆一 (けいふう心療クリニック) 大野 一人 (養南病院) 西村 聡美 (十全病院) 林 拓実 (水戸メンタルクリニック)</p>	
15:00	<p>15:30~17:00</p> <p><b>施設認定委員会シンポジウム</b> JSPN(1)</p> <p><b>リワーク施設認定制度の本質とは何か</b></p> <p>シンポジスト：横山 太範 (さっぽろ駅前クリニック) 片桐 陽子 (京都駅前メンタルクリニック) 岡崎 渉 (NTT 東日本関東病院) 蔵屋 鉄平 (品川駅前メンタルクリニック) 前田 英樹 (さっぽろ駅前メンタルクリニック) 前田 佐織 (不知火病院)</p>	
16:00	<p>17:00~18:00</p> <p><b>特別講演</b> JSPN(1) 医CC80(0.5)</p> <p><b>新型コロナとリワーク等デイケアにおける危機管理</b></p> <p>演者：窪田 彰 (錦糸町クボタクリニック)</p>	
17:00		
18:00		

**2日目** 2021年4月18日(日)

JSPN(1) 日本精神神経学会 専門医単位取得対象(括弧内は単位数)

医CC1(1) 日本医師会生涯教育制度 単位取得対象(カリキュラムコード、単位数)

**ライブ配信**

**オンデマンド配信**

9:00	9:00~11:00	JSPN(2)	<p style="text-align: center;"><b>一 般 演 題</b></p> <p style="text-align: center;">配信期間: 4月16日(金) ↓ 4月25日(日)</p>
	<p><b>研修委員会シンポジウム</b></p> <p><b>Web での指導スタッフの個別指導及び審査</b></p> <p>シンポジスト: 有馬 秀晃 (品川駅前メンタルクリニック) 飯島 優子 (メディカルケア虎ノ門) 松田 匡弘 (京都駅前メンタルクリニック) 仙頭 彩奈 (心の風クリニック) 前田 エミ (かなめクリニック)</p>		
10:00	11:00~12:00	医CC5(0.5)	
	<p><b>スポンサードセミナー 4</b></p> <p><b>職場におけるプレゼンティズム改善のための方策</b> ~うつ病、認知機能、睡眠、生活リズムの関与~</p> <p>演者: 井上 猛 (東京医科大学 精神医学) 座長: 川崎 弘詔 (福岡大学 医学部 精神医学) 共催: 吉富薬品株式会社 / 田辺三菱製薬株式会社</p>		
11:00	12:00~13:00	医CC10(0.5)	
	<p><b>スポンサードセミナー 5</b></p> <p><b>求復職の普通診断書雑考</b></p> <p>演者: 高尾 哲也 (水戸メンタルクリニック 理事長) 座長: 伊豫 雅臣 (千葉大学大学院医学研究院 精神医学) 共催: 武田薬品工業株式会社 / ルンドベック・ジャパン株式会社</p>		
12:00	13:00~14:00	医CC12(0.5)	
	<p><b>スポンサードセミナー 6</b></p> <p><b>地方都市リワークが生きる道</b></p> <p>演者: 後藤 剛 (社団医療法人二本松会 山形さくら町病院) 座長: 信田 広晶 (医療法人社団心癒会 しのだの森ホスピタル) 共催: ヴィアトリス製薬株式会社</p>		
13:00	14:00~16:30	JSPN(2) 医CC13(1)	
	<p><b>地域連携委員会シンポジウム</b></p> <p><b>コロナ禍の地域連携について</b></p> <p>シンポジスト: 小林 真実 (公益財団法人 松原病院 公認心理師・臨床心理士) 池田 隆一 (編集・情報委員会 / けいふう心療クリニック) 有馬 秀晃 (品川駅前メンタルクリニック) 河下 志 (アビームコンサルティング株式会社 産業医) 大橋 昌資 (医療法人啓夏会 響ストレスケア~こころとからだの診療所) 座長: 森田 哲也 (株式会社リコー)</p> <p>ディスカッションテーマ: <b>With コロナでの地域連携</b></p> <p>五十嵐 良雄 (医療法人社団雄仁会) 川内 昌平 (信貴山病院分院 上野病院) 能勢 隆宏 (十全病院) 古野 洋一 (医療法人社団雄仁会)</p>		
14:00	16:30~16:40		
	<p><b>リワーク協会お知らせ</b></p>		
15:00	16:40~17:30	JSPN(1) 医CC1(0.5)	
	<p><b>Zoom 座談会</b></p> <p><b>コロナ禍のインパクト・これからのリワークを考える</b></p> <p>会長、副会長、大会長、前大会長、次期大会長、理事</p>		
16:00	17:30~17:40		
	<p><b>閉会式</b></p>		
17:00			
18:00			

# プログラム

ライブ配信

1日目 4月17日(土)

10:00～11:00 開会式・大会長講演

JSPN(1)

医 CC15(0.5)

## コロナ禍の中で生きるリワーク・リワーク協会 アンケートの結果から

佐々木 一 医療法人社団爽風会 心の風クリニック千葉・船橋

※発表本体のみオンデマンド配信もいたします。配信期間：4月16日(金)～4月25日(日)

11:00～12:00 スポンサーセミナー1

医 CC70(0.5)

座長：五十嵐 良雄(メディカルケア大手町)

## 双極性障害薬物療法の新しい選択肢

佐藤 創一郎 希望ヶ丘ホスピタル

共催：大日本住友製薬株式会社

12:00～13:00 スポンサーセミナー2

医 CC68(0.5)

座長：岡 敬(特定医療法人十全会 十全病院)

## 双極性障害とリワークプログラム

鷲塚 伸介 信州大学 医学部 精神医学

共催：大塚製薬株式会社

13:00～14:00 スポンサーセミナー3

医 CC54(0.5)

座長：肥田 裕久(医療法人社団 宙麦会 ひだクリニック)

## 精神科外来における便秘症についての検討

山田 浩樹 昭和大学横浜市北部病院 メンタルケアセンター

共催：持田製薬株式会社

JSPN(1) 日本精神神経学会 専門医単位取得対象(括弧内は単位数)  
医 CC1(1) 日本医師会生涯教育制度 単位取得対象(カリキュラムコード、単位数)

14:00～15:30 **編集情報委員会シンポジウム**

JSPN(1) 医 CC72(0.5)

## 発達障害、こんな時みなさんどうしてますか？ ～リアルタイム投票・投稿・アンケートツールを用いて～

シンポジスト：

高尾 哲也 水戸メンタルクリニック  
五十嵐 良雄 メディカルケア大手町  
池田 隆一 けいふう心療クリニック  
大野 一人 養南病院  
西村 聡美 十全病院  
林 拓実 水戸メンタルクリニック

15:30～17:00 **施設認定委員会シンポジウム**

JSPN(1)

## リワーク施設認定制度の本質とは何か

シンポジスト：

横山 太範 さっぽろ駅前クリニック  
片桐 陽子 京都駅前メンタルクリニック  
岡崎 渉 NTT 東日本関東病院  
蔵屋 鉄平 品川駅前メンタルクリニック  
前田 英樹 さっぽろ駅前メンタルクリニック  
前田 佐織 不知火病院

17:00～18:00 **特別講演**

JSPN(1) 医 CC80(0.5)

## 新型コロナとリワーク等デイケアにおける危機管理

窪田 彰 錦糸町クボタクリニック

9:00～11:00 研修委員会シンポジウム

JSPN(2)

## Webでの指導スタッフの個別指導及び審査

シンポジスト:

有馬 秀晃 品川駅前メンタルクリニック

飯島 優子 メディカルケア虎ノ門

松田 匡弘 京都駅前メンタルクリニック

仙頭 彩奈 心の風クリニック

前田 エミ かなめクリニック

11:00～12:00 スポンサーセミナー4

医CC5(0.5)

座長: 川崎 弘詔(福岡大学 医学部 精神医学)

職場におけるプレゼンティズム改善のための方策  
～うつ病、認知機能、睡眠、生活リズムの関与～

井上 猛 東京医科大学 精神医学

共催: 吉富薬品株式会社/田辺三菱製薬株式会社

12:00～13:00 スポンサーセミナー5

医CC10(0.5)

座長: 伊豫 雅臣(千葉大学大学院医学研究院 精神医学)

## 求復職の普通診断書雑考

高尾 哲也 水戸メンタルクリニック 理事長

共催: 武田薬品工業株式会社/ルンドベック・ジャパン株式会社

13:00～14:00 スポンサーセミナー6

医CC12(0.5)

座長: 信田 広晶(医療法人社団心癒会 しのだの森ホスピタル)

## 地方都市リワークが生きる道

後藤 剛 社団医療法人二本松会 山形さくら町病院

共催: ヴィアトリス製薬株式会社

[ コロナ禍の地域連携について ]

- 1 「医療リワークのご案内  
～職場復帰までの流れ・リワークの活用方法～」パワーポイント資料のご紹介  
○小林 真実  
公益財団法人 松原病院 公認心理師・臨床心理士
- 2 リワーク支援における外部との連携状況  
～2019年度リワークプログラムの実施状況に関する調査報告より～  
○池田 隆一  
編集・情報委員会/けいふう心療クリニック
- 3 リモートワークとリワークプログラム  
○有馬 秀晃  
品川駅前メンタルクリニック
- 4 リモートワークによる復職判定への影響  
○河下 志  
アビームコンサルティング株式会社 産業医
- 5 地方都市(甲府盆地)におけるプログラム継続のための地域連携へのコロナの影響  
○大橋 昌資  
医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所

ディスカッションテーマ：「With コロナでの地域連携」

五十嵐 良雄 医療法人社団雄仁会  
川内 昌平 信貴山病院分院 上野病院  
能勢 隆宏 十全病院  
古野 洋一 医療法人社団雄仁会

16:30～16:40 **リワーク協会お知らせ**

16:40～17:30 **Zoom 座談会**

**コロナ禍のインパクト・これからのリワークを考える**

会長、副会長、大会長、前大会長、次期大会長、理事

17:30～17:40 **閉会式**

# 一般演題プログラム

オンデマンド配信

期間：4月16日(金)～4月25日(日)

## 特別テーマ

---

- S-01** リワークの治療構造を考慮したコロナ禍の取り組み  
○荒木 章太郎、高橋 保子、仙頭 彩奈、盛山 達也、伊野 ゆり子、齋藤 めぐみ、佐々木 一  
医療法人社団爽風会 心の風クリニック うつ病復職支援デイケア
- S-02** コロナ禍におけるプログラム変更を通じてリワークプログラムの意義を考える  
○藤井 朋広、片桐 陽子  
医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・きょうと
- S-03** コロナ禍での企業連携について～自粛以前の連携との比較～  
○吉越 淑子、佐藤 貴紀、及川 絵子、伊藤 友浩  
医療法人社団ユーアイエメリー会 すずのきメンタルケアクリニック
- S-04** デイケア閉鎖に伴うオンラインリワーク実施における利用者意見の分析  
○佐藤 大輔、佐藤 啓一郎、大坂 歩美、後藤 剛  
社会医療法人二本松会 山形さくら町病院 リワークさくら
- S-05** 当院リワークの体験した新型コロナ禍による影響と変化  
○小林 真実、辻 尚子、西島 茜、黒田 優希、仲野 愛、松原 六郎  
公益財団法人 松原病院
- S-06** コロナ禍における当院リワークの取り組み  
○松本 敦、馬場 雄也、信田 広晶  
医療法人社団 心癒会 しのだの森ホスピタル
- S-07** コロナ禍においてリワークプログラム運営を継続する工夫  
○飯島 優子<sup>1)</sup>、五十嵐 良雄<sup>2)3)</sup>  
1) 医療法人社団 雄仁会 メディカルケア虎ノ門、2) 一般社団法人 東京リワーク研究所、  
3) 医療法人社団 雄仁会 メディカルケア虎ノ門/大手町
- S-08** コロナ禍を受けてのリワークオンライン集団プログラムの取り組み  
○山田 航、岩元 健一郎、川原 可奈、今村 扶美、山下 真吾、鬼頭 伸輔  
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

## 一般テーマ

---

- G-01** リワークにおける集団マインドフルネス療法  
～3年間のプログラム内容の変遷に関する振り返り～  
○大磯 宏昭、山崎 祐子、濱田 季利  
特定医療法人富尾会 桜が丘病院
- G-02** リワークプログラムにおける集団精神療法  
ー弁証法的行動療法(DBT)の取り組みからー  
○馬淵 真衣、飯田 高教、神崎 順次、大野 一人、飯村 聡、酒井 里佳、菅沼 真衣子  
社会医療法人緑峰会 養南病院
- G-03** リワークプログラムにおいて認知機能リハビリテーションを実施することの  
意義は何か!?  
○松田 匡弘  
医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・きょうと
- G-04** リワークプログラム実施者の1日の時間の使い方と復職準備性との関連  
○田中 佐千恵<sup>1)</sup>、種子 雛乃<sup>1)</sup>、大橋 美友<sup>1)</sup>、岩井 龍之介<sup>2)</sup>、中野 未来<sup>2)</sup>、  
犬飼 清香<sup>3)</sup>、犬飼 希望<sup>3)</sup>、寺澤 美穂<sup>4)</sup>、北澤 加純<sup>5)</sup>、赤羽 恵里奈<sup>5)</sup>、鷺塚 伸介<sup>5)</sup>  
1) 信州大学 医学部 保健学科、2) 信州大学 医学部附属病院 リハビリテーション部、  
3) 信州大学 医学部附属病院 医療福祉支援センター、4) 信州大学 医学部附属病院 薬剤部、  
5) 信州大学 医学部 精神医学教室
- G-05** リワークプログラムにおける発達障害の特性を持つ者向けの  
プログラム「SAT」の取り組み  
○松田 由美江<sup>1)</sup>、鈴木 恵子<sup>2)</sup>、根本 雅子<sup>2)</sup>、小山 文彦<sup>1)</sup>、桂川 修一<sup>2)</sup>  
1) 東邦大学医療センター佐倉病院 産業精神保健・職場復帰支援センター、  
2) 東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック
- G-06** リワーク参加者に「役立つ」認知行動療法とは?  
○山中 慎也、岩下 真由美  
医療法人建悠会 吉田病院
- G-07** 当院リワークでは適応が難しいと判断された利用者のデイケア利用による回復効果  
○森田 めぐみ、家永 千夏、前田 エミ、樋口 明子  
医療法人要会 かなめクリニック
- G-08** 生活改善とリワークへの動機づけを高めることを目的としたグループミーティング  
○岩下 真由美  
医療法人建悠会 吉田病院

**G-09** リワークプログラム導入方法の変更がメンバーに与える影響に関する調査と実施状況の報告

○岡部 将也、榎屋 貴子、飯島 優子  
医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門

**G-10** プレリワークの役割と意味を考える  
～フルプログラムに乗れない患者と目指す患者の中継点～

○土門 由紀、佐々木 一、尾崎 理子、林 辰巳、並木 友子  
医療法人社団爽風会 あしたの風クリニック

**G-11** 回復途上で休職期間が満了し、復職した事例から  
～治療継続と働く場を守る、連携のためのエッセンスとは～

○辻 尚子、小林 真実、黒田 優希、西島 茜、仲野 愛、松原 六郎  
公益財団法人 松原病院

**G-12** 教育プログラムの構造及び実施内容について  
～回復段階が中・後期の利用者を対象としたプログラムを例に～

○中坪 雅代  
医療法人社団 雄仁会 メディカルケア虎ノ門

**G-13** リワークデイケアと EAP との連携による復職支援の取り組み

○中田 直、草野 さなえ  
社会医療法人 あさかホスピタル附属あさかこころクリニック

**G-14** リワークプログラムにおける「回復」を支えるもの

○剣持 慈子、高橋 空美、池沢 佳之  
医療法人社団 ハートクリニック デイケア

**G-15** 産業医が課題を出し、人事総務と上司が参加して、会社で行う  
「リワーク報告会」の実践報告

○林田 耕治<sup>1)2)</sup>、本永 ひとみ<sup>1)2)</sup>、坂口 愛未<sup>1)2)</sup>  
1)トータルヘルスクリニック(内科・産業保健専門外来)、2)トータルヘルス株式会社

# 単位取得表

## 各種学会ポイント・単位のご案内

- 当大会では下記のポイントが取得可能となるよう申請中です。  
大会終了後に、大会が規約通り行われたかどうかの審査を経てはじめてポイントは取得可能となります。そのため現時点ではポイント取得をお約束できるものではありません。ご承知ください。
- 諸学会からの要求が厳しくなり、今回ポイント申請のためには、ライブ配信の視聴が必須です。一部同じ内容であったとしても、オンデマンド配信ではログインログアウトの記録が残らないため、ポイント申請ができません。必ずライブ配信の時間にPC・スマホがZoomに接続した状態になっていることをご確認ください(短時間回線が途切れる程度なら問題ではありません)。
- 臨床心理士ポイント、作業療法士ポイントは、ご自身での申告が必要です。  
日本精神神経学会、日医生涯教育は当大会から申告いたします。  
日医産業医ポイントは、今回はWEB開催のため取得が認められません。

### 〈日本医師会生涯教育 単位〉

大会長講演、特別講演、一部の委員会セミナー、スポンサードセミナー、Zoom 座談会は、日本医師会生涯教育制度の単位申告の対象となります。

1日目3単位、2日目3単位を上限に、3時間以上視聴された先生に単位が付与されます。

なおCC(カリキュラムコード)は重複しての取得はできませんが、単位数は加算されます。

### 〈日本精神神経学会(JSPN) 専門医単位〉

大会長講演、特別講演、委員会セミナー、Zoom 座談会は、日本精神神経学会の専門医単位申請の対象となっています。

なお1会期中で3単位の取得が上限となっています。

### 〈日本臨床心理士資格認定協会 ポイント〉

本大会は、「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第4項に該当するポイント(短期型・ワークショップ)付与の対象となっています。

なお参加証は、自己申請の際に、ご活用ください。

### 〈日本作業療法士協会研修ポイント〉

本大会は、一般社団法人日本作業療法士協会「生涯教育基礎コースポイント」付与の対象となっています。

なお参加証は、自己申請の際に、ご活用ください。

A series of 30 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

# 大会長講演

## ライブ配信

期間：4月17日(土) 10:00～11:00

Zoom ウェビナー(Webinar)を使用して配信いたします。

## オンデマンド配信

期間：4月16日(金)～4月25日(日)

発表本体のみ配信いたします。

参加者との双方向性のやり取りのパートはございません。

## コロナ禍の中で生きるリワーク・リワーク協会 アンケートの結果から

佐々木 一

医療法人社団爽風会 心の風クリニック千葉・船橋

日本精神神経学会(JSPN)専門医単位 1単位

日本医師会生涯教育単位 CC15 0.5単位

## コロナ禍の中で生きるリワーク・リワーク協会 アンケートの結果から

佐々木 一

医療法人社団爽風会 心の風クリニック千葉・船橋

---

2020年の新型コロナウイルス感染症の流行は、日本社会に大きな被害をもたらした。リワークもその例外ではない。リワークは休職中のうつ状態の利用者を復職させるだけでなく、再発防止を目的とし、数か月以上の利用期間を必要とする濃密なプログラムであり、多くのサブプログラムが集団的なセッティングで行われている。うつ状態の再発防止のためには、コミュニケーションスキル・セルフコントロール・セルフモニタリングの取得が欠かせない。その中でもコミュニケーションスキルの獲得は講義・自習などでの知識の取り入れだけでは不十分であり、リワークに参加して、利用者・スタッフとの交流の中で実践、失敗、修正を重ねて習得する過程が不可欠である。また、同質の利用者に囲まれることで孤立を防ぐ、ロールモデルの取り込みをするといった集団精神療法的な効果は大である。リワークは週5回、数か月にも及ぶ壮大な集団精神療法であるという視点は、治療だけでなく組織運営から見ても欠かせない。

しかしながら集団の中での対人接触はコロナウイルスの感染のリスクを高める。緊急事態宣言下でリワークを継続させるかどうか、多くのリワーク運営者は非常に困難な決断を迫られた。演者の属する医療法人では2つのリワーク、1つのプレリワークプログラムを運営しているが、リスクを下げつつこれらのプログラムを継続する方法を選択した。

日本うつ病リワーク協会では、直後より3回にわたり、会員施設に対してのアンケート調査を実施した。継続するための方法、今後の対応について興味深いデータが得られた。

本講演では、これらについての報告を交えて発表する。

# 一般演題

オンデマンド配信

期間：4月16日金～4月25日日

<https://utsu-rework4web.secand.net>

---

今大会は口頭発表、ポスター発表はございません。一般演題はネット上でのオンデマンド配信による発表です。会場に制限のない(時間・空間に関わりなく、ネット上に無限に広がっています)ネット開催のみであるメリットを生かし、敢えて発表スライドの枚数、時間については規定を設けておりません。

「特別テーマ」(演題番号 S-)

コロナ禍での感染対策、利用者減への対応、不安・風評被害への対処など、会員の皆様の苦労話、リアルタイムでの対処、今後の新しい方向性など、会員が今伝えたい、今知りたいことについてのご発表です。

「一般テーマ」(演題番号 G-)

例年の大会の一般演題と同様です。リワークに関することについての、様々なテーマについてのご発表です。

## S-01 リワークの治療構造を考慮したコロナ禍の取り組み

○荒木 章太郎、高橋 保子、仙頭 彩奈、盛山 達也、伊野 ゆり子、齋藤 めぐみ、  
佐々木 一

医療法人社団爽風会 心の風クリニック うつ病復職支援デイケア

2020年から生じた新型コロナウイルス感染拡大は、当院にとって、これまでに経験したことの無い大きなアクシデントの一つであった。家族や会社状況も含めて復職に影響が出ることの不安やデイケア通所への葛藤があった。一方、スタッフとしては感染予防対策を講じながら、デイケアを継続していくことについての不安やプレッシャーを感じていた。このようなコロナ禍において様々な工夫や対策を必要としたが、当院ではリワークの治療構造を考慮して、集団プログラムを継続した。

うつ病リワーク施設では集団力動を活かした支援を行うことが求められている。その際、デイケア集団全体を社会の縮図として考え、個人と集団との関係について振り返るための実験の場として捉えることが多い。

当院の場合「当事者研究」と「相互学習」という理念のもと、利用者それぞれが「再発防止策の作成」というプロジェクトチームを立ち上げる。そのチームでは利用者本人がリーダーとなるが、他の利用者やスタッフ、主治医もチームに含まれる。また利用者本人も他の利用者のプロジェクトチームの一員となる。このように利用者同士がスタッフや主治医と協働しながらプロジェクトを遂行させるという治療構造となっており、これは治療共同体と考えることができる。

治療共同体の定義としては、

- 1) メンバーが主体的に治療に関わること
- 2) スタッフとメンバーが平等な関係であることを前提とする
- 3) 一部の限られたコミュニケーションではなく開かれた対話を行い、生活の中で生じた問題や悩みを活動の中で考え、グループの中で話し合うこと
- 4) その中で葛藤に直面し乗り越え生きていくことを助け合う

という治療構造である。この構造で考えていくとデイケア内で起こる様々なアクシデントはメンバー個人の問題解決や治療の機会と捉えることができる(鈴木, 2020)。

本発表では、治療共同体という治療構造について紹介しながら、当院の場合、メンバー・スタッフが協働してコロナ禍というアクシデントとどのように向き合い取り組んできたかについて報告する。

第4回日本うつ病リワーク協会年次大会  
プログラム・抄録集

---

発行日：2021年3月11日

運営事務局：医療法人社団 爽風会

〒273-0854 千葉県船橋市金杉町159-2  
TEL：047-429-3111 FAX：047-429-2324  
E-mail：rework@sofu.or.jp

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://secand.jp/>